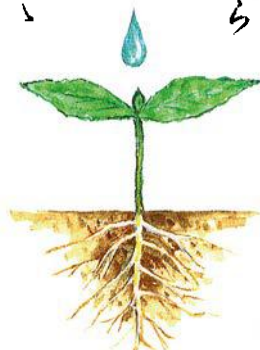


産科 婦人科 漢方  
浮田医院  
だより



## 第 10 号

発行所：産科 婦人科 漢方  
浮田医院

〒520-1214

滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28

TEL 0740-32-3751

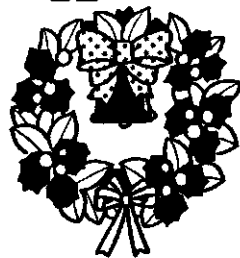
FAX 0740-32-3795

発行日：平成10年12月5日(土)

発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ  
(10)  
気逆(のぼせ) II



今年も、最後の月となりました。多くの方に、漢方医学の根底に流れる考え方を知っていただき、漢方薬に馴染んでももらいたいという思いで、「せゝらぎ」を執筆しています。また、当院での漢方治療の指針、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎、慢性肝炎、肝硬変、心臓肥大症状、せゝらぎの内容・・・などの揭示を、本年3月より院内にしてみました。その反響が次第に漢方薬を求めて来院される方、肩凝り、腰痛で円皮針の治療を求めて来院される方が増えつつあります。私は、少しでも多くの人に東洋医学的治療のよさを知ってもらい、日常生活に東洋医学的考え方を取り入れて、バランスのとれた心や体を維持していただき、私達に与えられた自然治癒力のすばらしさ



キロロ(北海道)

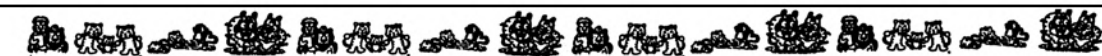
を知ってもらいたいです。当院の検査だけでなく、近くの病院に諸検査を依頼し、診断(検査)は西洋医学的方法で、治療は東洋医学的方法を主体とし、時に西洋医学的方法も併用するという形の診療が形成され

つつあります。東洋医学、西洋医学とこだわる必要は全くありませんが、治療方法には、東洋医学と西洋医学とあり、各々得意とする分野があるということ、皆様方に知って頂きたいのです。その上で、ご自分がよいと信じる治療法を選択すべきではないでしょうか？

12月は寒い季節で、暖房のため、頭や顔がのぼせることが多いのも事実です。前号に続いて、「せゝらぎ10号」でも、「気逆(のぼせ)」を取り上げてみました。「のぼせ」症状で来院されるのは、血の道(更年期障害)、自律神経失調症、子宮内膜症、子宮筋腫、高血圧、脳卒中発作初期、不眠、鼻血、発作性頻脈、心臓神経症、不安神経症、不整脈、喘息発作・・・の方々です。

では、実例を挙げてご説明しましょう。53歳の女性で、ご主人、姑、舅の4人暮らしで、家では、気が塞ぎ、喉がつまり、頭痛がし、急に顔がほてり、動悸がし、冷汗が出て苦しくなりませんが、外出した時は、気分が晴





れ々して、ほてり、動悸、冷汗なども感じません。体格は中程度、お腹の力は普通で、右季肋部（肋骨弓の真下）に軽い抵抗、臍の上に動悸、臍の右下に軽い抵抗を触れ、みぞおちを軽く叩くと、チャップ音がしていました。年令的に「肝」の働き（精神・神経の調節機能）が衰え始め、気が停滞・逆上して生じた症状（家庭環境や性格も大いに関係）と考え、「肝」の働きを助け、気の流れをよくする加味逍遙散、半夏厚朴湯、香附子エキスを飲んでいただくと、考え方にゆとりが出て、症状もなくなりしました。

65歳の女性で、ご主人と次男の3人暮らしです。2〜3年前から、血圧が高く（160/100）なり始め、顔が真っ赤になり、のぼせると、肩も首も凝り、頭痛、蕁麻疹、動悸が起こるようになりました。体格は良好で、お腹の力は強く、右季肋部に硬い抵抗、みぞおちに動悸、臍の左右に硬い抵抗を認めました。瘀血（血液循環障害）と「肝」の働きの亢進のため「熱」が生じ、のぼせや蕁麻疹が発症したと考え、柴胡加竜骨牡蛎湯、桂

枝茯苓丸、黄連解毒湯、釣藤エキスを飲んでいただくと、2〜3カ月で、ほぼよくなりましたが、お腹の所見が改善する日を夢見ながら現在も服用されておられます。

55歳の女性で、ご主人と2人暮らしです。30年前、お産後十分に休養できず、ノイローゼ気味となり、不眠（寝付けない）、頭痛、便秘になったそうです。今まで、睡眠剤、下剤などを飲んでいましたが、最近、顔が急にほてり、胸がドキドキし、頭が締め付けられる程痛くなるそうです。体格は良好で、お腹に力があり、臍の左下に堅い抵抗を認めました。桃核承気湯を飲み始めると、わずか3日程で症状がなくなりました。産後の古い瘀血が原因と考えられました。「氣逆」に関係した3実例をお示ししましたが、参考になりましたでしょうか？

平成11年1月の「せいらぎ11号」は、「血熱驚」（ほてり）について述べてみます。



【院長】



## しもやけでお悩みの方へ

「しもやけ」は、寒冷刺激に弱く、精神的ストレスを受けやすい子供や女性に多く見られます。漢方医学では、「しもやけ」の治療に、【肝虚】（精神的なイライラ）、【脾虚】（胃腸の弱り）、【寒】（手足の冷え）、【水毒】（手足のむくみ）、【気虚】（疲れやすさ）、【血虚、瘀血】（皮膚の荒れ）を調整する漢方薬を使用します。当院で、正しい東洋医学的診察を受け、「しもやけ」の苦痛を少しでも克服して下さい。また、漢方の軟膏もお試し下さい。



## 頭痛でお悩みの方へ

漢方薬は、【冷え症】【高血圧症】【鼻炎、副鼻腔炎】【胃腸虚弱】【月経】【肩凝り】【むくみ】【自律神経失調症】に関係した頭痛に効果的で、頭痛だけでなく、冷え症、高血圧、鼻炎……などの不快な症状も同時に治療し、体調を調べ、体質を改善するのに役立ちます。もちろん、脳動脈瘤、脳腫瘍、緑内障……などの疾患を心配される方は、CT、MRIなどの検査が必要です。

漢方薬治療を希望される方は、ご相談下さい。



## 当院の漢方治療のお知らせ



### 剤型について

- ・エキス漢方：エキス顆粒の漢方薬（大部分“粉薬”、一部錠剤）。携帯に便利です。
- ・煎じ薬：お茶の様に煮て作ります。必要な生薬を組合せて“漢方薬”を作ります。

当院のエキス漢方は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも、湿める場合、冷蔵庫で保管して下さい。漢方薬が湿りやすい場合、当院の“漢方専用容器”（無料）をご利用下さい。

### 適応症について

- ・すべての疾患に適応できます。疲れ、食欲不振、便秘、排尿障害、むくみ、痛み、冷え、ほてり、動悸・・・などあらゆる症状に対応できます。
- ・漢方薬のよく効く疾患  
アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、接触性皮膚炎、帯状疱疹後神経痛、便秘、子宮内膜症、生理痛、更年期障害、冷え症、低血圧症、下痢、風邪、肥満、クーラー病、夏ばて、慢性膀胱炎、過敏性大腸炎、神経痛、膝関節症、前立腺肥大、頭痛、切迫流産、切迫早産、妊娠中毒症、慢性肝炎、慢性疲労、めまい、肩凝り、虚弱児、慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎、慢性扁桃腺炎
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患  
高血圧症、喘息、アレルギー性鼻炎、関節リウマチ、腎炎、糖尿病、骨粗鬆症、痔、肝硬変、肝臓癌、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用時倦怠感・・・・・・・・

### エキス漢方と煎じ薬について

- ・軽症の病気：漢方製剤（エキス顆粒）を組合せて治療します。
- ・中程度の病気：漢方製剤と単味の生薬エキス顆粒を組合せて治療します。
- ・重症の病気やエキス顆粒無効の場合  
煎じ薬を使います。より細やかに治療できますので、治療効果も優れています。オーダーメイド漢方ですから、エキス漢方と比べ、より優れた効果が発揮されます。

女性の方に限らず、男性の方や子供の方もご相談下さい。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診断法（四診）や検査（超音波、血液、尿、便、心電図、骨塩量測定・・・・・・・・）などを利用して、“漢方薬”の決定をします。

### 院長の講演会のお知らせ

- ・12月12日(土)：“日本東洋医学会関西支部役員会”（大阪）
- ・12月13日(日)：“滋賀県産婦人科医会総会―理学会”
- ・1月21日(木)：“咽痛の漢方治療”（医師、薬剤師）  
第40回滋賀漢方懇話会（ホテルロイヤルオーク滋賀）
- ・1月30日(土)：“日本東洋医学会関西支部役員会”（大阪）
- ・3月18日(木)：“更年期障害の漢方治療”（医師、薬剤師）  
第41回滋賀漢方懇話会（ホテルロイヤルオーク滋賀）

### 漢方入浴剤のお知らせ

漢方薬草風呂としてご利用下さい。  
美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび  
昇竜湯：神経痛、腰痛、肩凝り、疲労回復  
症状に応じた【漢方薬草剤】もお作りします。

### 外来休診のお知らせ

平成11年1月1日～3日の外来診療はありませんが、急患・お産の方の診察はいたします。

### レシート及び領収書の保管

レシート及び領収書の再発行はいたしません。  
大切に保管して下さい。

### “処置診”のお知らせ

処置、検査、点滴、針の場合【受診者名簿】の【処置診】の欄に、【氏名】お書き下さい。

### “皮内針”のお知らせ

針の長さは1～2mmで、刺す時の痛みはありません。お気軽にご相談下さい。  
〔適応〕肩凝り、腰痛、神経痛、筋肉痛・・・

### 骨量測定のお知らせ

極少量のX線吸収を利用し（DEXA）、1分で測定できます。結果は、直ぐにお渡しします。  
骨量の心配な方、お申し出下さい。

### 駐車場のお知らせ

- ・北駐車場（日曜・祭日・祝日：終日閉鎖）  
月・水・金：午前8:30～夕方診終了まで  
火・木・土：午前8:30～午前診終了まで
- ・東、南駐車場：終日駐車可能

母親教室（前中期）のお知らせ

日時：12月22日（火）、平成11年2月9日（火）  
 対象：妊娠7ヶ月までの方（定員5名）（無料）  
 場所：当院1階  
 予定：薬と病気（院長）：午後1:30～1:55  
 ：軽体操（助産婦・看護婦）：午後2:00～2:15  
 ：食事と栄養（栄養士）：午後2:20～2:45  
 ：ティータイム：午後2:50～3:05  
 ：妊娠生活（助産婦）：午後3:05～3:30

母親教室（後期）のお知らせ

日時：12月22日、平成11年1月12日、26日、2月16日（火）  
 対象：妊娠8～10ヶ月の方（定員5名）（無料）  
 場所：当院1階  
 予定：入院時期と準備：午後1:30～1:50  
 ：分娩の経過：午後2:00～2:25  
 ：ラマーズ法教室：午後2:30～2:55  
 ：ティータイム：午後3:00～3:15  
 ：病棟案内：午後3:20～3:25  
 ：記念撮影（後日お渡し）：午後3:25～3:30

お気軽にご参加下さい。ご主人も一緒に参加されませんか？  
 皆様方のご希望に答えて、後期母親教室の回数をできるだけ月2回にいたします。  
 申し込み方法：申し込みノートにご予約ください。

母親教室と産後の集いティータイムのお知らせ

今月は“シュトーレン”（ドイツではクリスマスシュトーレンと言います）と“パンで作ったリース”（飾りパン）です。  
 “シュトーレン”は、クリスマス用ケーキで、ミックスフルーツやアーモンドなどが入っています。“パンで作ったリース”は、お一人ずつにプレゼントいたします。かわいいオーナメントでお飾り下さい。  
 メリークリスマス！【パンの世界】をお楽しみ下さい。



外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午 前	一般外来	妊婦外来	漢方外来	漢方外来	妊婦外来	一般外来	—
夕 方	更年期外来	—	不妊外来	—	漢方外来	—	—

午前の診療（月～土）：午前9:00～正午 夕方の診療：午後5:30～午後7:30  
 火曜日の午前診療：午前11:00～正午：産後検診（新生児、母親）、乳児健診を優先いたしますので、ご了承下さい。  
 水曜日の夕方診療：妊娠中の方の定期健診はご遠慮下さい。急患の場合は、この限りではありません。  
 漢方外来・一般外来：男性の方、女性の方、子供、どなたでもお越しください。

入院中のお食事

厨房のスタッフが心をこめてお作りします。皆様方に安心して食べていただけるよう、塩分、糖分、カロリーに気をつけ、素材は十分に吟味し、薬膳料理も取り入れています。

第5回妊婦のための料理教室

日付：平成11年2月2日（火） 時間：午前10時～午後2時  
 対象：妊娠中の方（無料） 献立：ミニフランス料理

看護婦・助産婦・看護補助婦・受付の募集のお知らせ

看護婦、助産婦、看護補助、受付（医療事務免許必要）の方で、常勤あるいはパート勤務できる方、ご連絡下さい。  
 面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給

赤ちゃんのビデオ撮影のお知らせ

院長の説明とバックミュージックが録音されます。ご希望の方は、【受付】にお申し出下さい。

立合分娩ご希望の方へ

前もって、【受付】にお申し出下さい。

赤ちゃん健診（2と3カ月）のお知らせ

赤ちゃんの2カ月健診、3ヶ月健診もしています。  
 日時：毎週火曜日、午前11時～正午（2000円）

産後の集いのお知らせ

【お母さんと赤ちゃんの相談】のための時間です。  
 【手作りケーキとお菓子】もお楽しみ下さい。  
 日時：12月15日（火）、1月19日（火） 午前11:00～午後12:30  
 申込：申込ノートにご予約下さい。定員：5名（無料）